

また、各教育事務所ごとに広報事務担当者を置き、教育事務所発行の広報紙（誌）の編集を行うとともに、本庁広報係との連絡に当たった。

教育事務所広報事務担当者名

| 教育事務所 | 職 名 | 氏 名 |
|-------|---------|-----------|
| 県 北 | 指 導 主 事 | 五十嵐 久 子 |
| 県 中 | 〃 | 根 本 清 夫 |
| 県 南 | 〃 | 穂 積 友 大 之 |
| 会 津 | 〃 | 渡 部 裕 之 |
| 南 会 津 | 〃 | 高 野 庄 三 |
| 相 双 | 〃 | 佐 藤 英 男 |
| い わ き | 〃 | 鈴 木 雅 之 |

2 教 育 福 島

(1) 編集方針

県の教育行政施策及び実績、学校教育の資料及び活動状況等を広報し、教職員の現職教養を高め、学校教育の進展を図り、ひいては生涯教育についての理解を深める。

(2) 内 容

① 特 集

- 4・5月 1) へき地教育の充実
- 2) 勤労体験学習の推進
- 3) 初任者研修試行の概要
- 6 月 1) 生徒指導の充実
- 2) 学校事務～学校経営の要として～
- 7 月 1) 国際理解教育と国際交流
- 2) 養護教育の推進
- 8 月 1) 豊かな人間性をはぐくむ学校教育の推進
- 2) 県高等学校文化連盟の発足とその概要
- 9 月 1) 進路指導の充実（中学校・高等学校）
- 2) 交流教育の推進
- 10 月 1) 生涯教育の展開
- 2) 中・高連携教育の推進
- 3) 心身ともにたくましい児童生徒の育成をめざして
- 11 月 1) 道徳教育の展開
- 2) ライフサイクルプラン講座
- 3) 福島県の文化
- 12 月 1) 学習指導の展開（義務・高校・養護学校）
- 2) 性教育の実践
- 1 月 1) 昭和62年度教職員研究論文コンクール特選論文紹介
- 2・3月 1) 昭和63年度福島県教育委員会重点施策の概要
- 2) 昭和63年度学校教育指導の重点（小学校・中学校・高等学校・養護学校）
昭和63年度教育関係行事予定表<別冊>

② 記 事

提言、特集記事、グラヒア、随想、フォト・行事から、研究実践、教育センターから、養護教育センター通信、

生涯教育インフォメーション、レポート～学校から、教育ひとくちメモ、図書館コーナー、美術館だより、博物館ノート、ふるさと探訪、羅針盤、世界の教育は今

(3) 規格・ページ数・部数

- ① 規 格 B 5 版
- ② ページ数 毎号48ページ
- ③ 部 数 毎号 2,170部

(4) 配付対象

教育庁各課・所・館、公立幼・小・中・高・特殊教育諸学校、市町村教育委員会、中央公民館、知事部局関係各課、県議会議員、文部省関係課・館、各都道府県教育委員会、報道機関等

3 教育委員会だより

(1) 編集方針

教育行政の諸領域の中から、広報（速報）を要する事項や全教職員に周知させる必要のある問題を選定し、それらを中心に編集して教育委員会施策の徹底を図る。

(2) 内 容

昭和63年度教育予算及び県教育庁の新陣容について

(3) 規格・ページ数・部数

135号 8ページ 5,000部

(4) 配付対象

教育庁各課・所・館、小・中・高・特殊教育諸学校、市町村教育委員会事務局、公民館、知事部局関係各課、県議会議員、文部省、都道府県教育委員会、その他関係教育機関等。

4 教 育 年 報

(1) 編集方針

昭和62年度の県教育庁行政の成果を記録し、将来に残る公的記として保存する。

なお、当該年度の特色ある事業は積極的に掲載する。

(2) 内 容

昭和62年度の県教育行政の実績

(3) 規格・ページ数・部数

B 5 版 186 ページ 1,200部

(4) 配付対象

教育庁各課・所・館、小・中・高・特殊教育諸学校、市町村教育委員会、知事部局関係各課、県議会議員、文部省、都道府県教育委員会、その他関係教育機関等

5 福 島 県 の 教 育

(1) 編集方針及び内容

本県教育界の実状と教育行政の要点を図式化して編集し、教育庁への来訪者や諸会議の出席者に配布し、本県教育に対する理解を図る。

(2) 規格・ページ数・部数

A 5 版 8 ページ（観音開き横組み 2 色刷り）
1,200部

(3) 配付対象

県教育行政機関への来訪者、研究大会等諸会議への出席者、市町村教育委員会、文部省、各都道府県教育委員会等